



## 平成26年11月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年10月2日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2809 URL <http://www.kewpie.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 峰三郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営推進本部長 (氏名) 篠原 真人 TEL 03-5384-7780  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日  
 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年11月期第3四半期の連結業績(平成25年12月1日～平成26年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第3四半期	412,813	4.5	18,418	1.7	19,231	0.2	10,704	4.2
25年11月期第3四半期	395,134	4.6	18,111	5.9	19,275	3.8	10,276	7.3

(注) 包括利益 26年11月期第3四半期 12,945百万円 (17.4%) 25年11月期第3四半期 15,676百万円 (10.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第3四半期	71.20	-
25年11月期第3四半期	68.64	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年11月期第3四半期	352,222	220,157	55.4
25年11月期	334,655	210,285	55.0

(参考) 自己資本 26年11月期第3四半期 195,290百万円 25年11月期 184,204百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	-	11.00	-	11.00	22.00
26年11月期	-	11.50	-		
26年11月期(予想)				11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成26年11月期の連結業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	550,000	3.7	24,500	9.4	25,100	5.7	13,000	3.4	86.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無  
新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年11月期3Q	153,000,000 株	25年11月期	153,000,000 株
26年11月期3Q	1,132,174 株	25年11月期	3,278,555 株
26年11月期3Q	150,354,507 株	25年11月期3Q	149,722,941 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2．サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3．四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
4．補足情報 .....	12
(1) 売上高・営業利益の状況と営業利益の増減要因 .....	12
(2) 設備投資と主要な販売費・一般管理費 .....	14
(3) 国内におけるサラダ調味料の業態別販売量および金額（キユーピー株式会社） .....	14
(4) 海外展開 売上高・営業利益の状況 .....	14
(5) 営業外・特別損益の状況と主な増減内容 .....	15
(6) 貸借対照表の状況と主な増減内容 .....	15
(7) キャッシュ・フローの状況と主な増減内容 .....	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安や株高が継続する中、雇用環境の改善は進みましたが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要に対する反動から、4月以降、個人消費の厳しさが継続しました。

食品業界においても、消費税率引き上げの影響を受ける中、女性の社会進出や高齢化による多様なニーズが一段と高まり、中食の需要が増加しました。一方、円安などによる原資材価格の上昇やエネルギーコストの増加などのコスト上昇圧力が続きました。

食品物流業界においては、取扱量は堅調なものの、軽油価格や電気料金の高騰、人手・車両不足による運送コストの上昇など、厳しい状況となりました。

## 当社グループ（当社および連結子会社）の状況

平成25年度からの3年間を対象とする中期経営計画では、グループ全体で挑戦する風土を醸成し、国内での持続的成長と海外での飛躍的成長を遂げるべく、「ユニークさの発揮と創造」を軸にした4つの経営方針（経営基盤の強化、国内でのイノベーション、海外への本格展開、将来への布石）にグループが連携して取り組み、企業価値の一層の向上に努めております。

## ・売上高

調味料事業やサラダ・惣菜事業などが好調に推移したことにより、4,128億13百万円と前年同期に比べ176億79百万円（4.5%）の増収となりました。

## ・利益面

鶏卵相場や食油価格の上昇などの影響を受け、営業利益は184億18百万円と前年同期に比べ3億7百万円（1.7%）の増益となりました。

経常利益は、海外子会社に対する貸付金評価額の為替差益の減少などにより、192億31百万円と前年同期に比べ44百万円（0.2%）の減益、四半期純利益は、前年に発生した減損損失の反動から、107億4百万円と前年同期に比べ4億28百万円（4.2%）の増益となりました。

## セグメント別の状況

## [売上高の内訳]

(単位 百万円)

	前第3四半期 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	増減(金額)	増減(比率)
調味料	109,487	114,746	5,259	4.8%
タマゴ	66,312	73,373	7,061	10.6%
サラダ・惣菜	73,264	76,496	3,232	4.4%
加工食品	43,937	42,666	1,271	2.9%
ファインケミカル	6,775	7,494	719	10.6%
物流システム	89,460	93,926	4,466	5.0%
共通	5,896	4,109	1,787	30.3%
合計	395,134	412,813	17,679	4.5%

## [営業利益の内訳]

(単位 百万円)

	前第3四半期 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	増減(金額)	増減(比率)
調味料	9,188	9,141	47	0.5%
タマゴ	2,911	2,481	430	14.8%
サラダ・惣菜	2,715	2,597	118	4.3%
加工食品	517	265	782	-
ファインケミカル	607	632	25	4.1%
物流システム	2,377	2,496	119	5.0%
共通	823	795	28	3.4%
調整額	5	6	1	20.0%
合計	18,111	18,418	307	1.7%

## 調味料

- ・海外での拡大が進むとともに、国内はサラダ調味料が伸張り増収
- ・主原料のコスト上昇を受けたが、増収や前年7月に実施した価格改定の効果により、営業利益は前年並み

## タマゴ

- ・国内鶏卵相場の上昇の影響に加え、中食向けの液卵と料飲向けのタマゴ加工品が堅調に推移し増収
- ・価格改定の効果で回復基調にあるが、上期の国内鶏卵相場の上昇影響をカバーできず減益

## サラダ・惣菜

- ・需要増を後押しする提案活動と生産体制の強化で、カット野菜や惣菜が伸張り増収
- ・コスト改善は進んだが、減価償却費の増加やC V S向け米飯の売上減少の影響で減益

## 加工食品

- ・富士山仙水（株）の売却や不採算商品の整理により減収となるも、ジャムや育児食の強化商品は伸張り増収
- ・不採算商品の整理や販売促進費の低減により増益

## ファインケミカル

- ・医薬用ヒアルロン酸の販売量は減少したが、医薬用E P Aの好調により増収増益

## 物流システム

- ・専用物流などの取り扱いの拡大が進み増収
- ・増収効果に加え、コスト改善が進み増益

## 共通

- ・前年に発生した食品メーカー向け製造機械の販売分の反動により減収減益

## (2) 財政状態に関する説明

## 総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、3,522億22百万円と前連結会計年度末に比べ175億67百万円増加  
主に「受取手形及び売掛金」、「有形固定資産」の増加、「現金及び預金」の減少による
- ・負債は、1,320億64百万円と前連結会計年度末に比べ76億95百万円増加  
主に「支払手形及び買掛金」、「未払法人税等」、「賞与引当金」、「長期借入金」の増加、「その他」に含まれる未払費用の減少による
- ・純資産は、2,201億57百万円と前連結会計年度末に比べ98億72百万円増加  
主に「利益剰余金」の増加、「自己株式」、「少数株主持分」の減少による

## キャッシュ・フローの状況

- ・現金及び現金同等物の残高は、323億44百万円と前連結会計年度末に比べ116億18百万円減少

## 各キャッシュ・フローの状況

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費に加え、引当金、売上債権、たな卸資産、仕入債務の増加、その他に含まれる未払費用の減少、法人税等の支払いなどにより188億33百万円の収入（前年同期は150億15百万円の収入）
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券、有形固定資産、関係会社株式の取得による支出などにより291億53百万円の支出（前年同期は158億94百万円の支出）
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入、配当金の支払いなどにより13億94百万円の支出（前年同期は18億19百万円の支出）

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しについては、主原料価格の変動や消費税率引き上げによる市況など、当社グループにとって不透明な環境が続くものと思われまます。

当社グループは、平成25年度からの3年間を対象とする中期経営計画の2年目にあたり、国内での持続的成長と海外での飛躍的成長をめざし、「国内でのイノベーション」と「海外への本格展開」を着実に進めてまいります。

国内においては、マヨネーズの万能調味料化や卓上化を進めるとともに、最適な生産体制の構築による効率化や増産への対応を進め、基幹領域を深耕してまいります。また、スーパーマーケットのチルド売場やネット販売、宅配ルートなど、新たな販路への展開に挑戦してまいります。

また、海外においては、中国や東南アジアの生産および営業の拠点を活用し、エリア特性に応じた展開によるアジアのマヨネーズ市場の拡大や、グループ資源の活用による世界的な外食チェーンとの取り組みなど、アジアでの本格展開を進めてまいります。

なお、本年7月1日に公表しました平成26年11月期の連結業績予想に対しましては、変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	33,967	27,348
受取手形及び売掛金	77,460	84,267
有価証券	10,000	10,000
商品及び製品	12,478	14,133
仕掛品	950	1,043
原材料及び貯蔵品	5,878	7,261
その他	5,943	6,905
貸倒引当金	242	187
流動資産合計	146,435	150,772
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	138,035	145,638
減価償却累計額	82,213	85,411
建物及び構築物（純額）	55,822	60,227
機械装置及び運搬具	133,368	139,617
減価償却累計額	109,274	112,803
機械装置及び運搬具（純額）	24,094	26,813
土地	42,191	45,518
建設仮勘定	7,401	7,945
その他	16,702	18,324
減価償却累計額	10,384	11,531
その他（純額）	6,318	6,792
有形固定資産合計	135,828	147,297
無形固定資産	2,667	2,565
投資その他の資産		
投資有価証券	23,536	25,363
前払年金費用	15,736	16,089
その他	11,026	10,664
貸倒引当金	575	532
投資その他の資産合計	49,724	51,586
固定資産合計	188,220	201,449
資産合計	334,655	352,222

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	50,786	53,179
短期借入金	8,312	8,990
未払法人税等	2,725	4,937
賞与引当金	1,117	4,285
その他の引当金	1,051	2,874
その他	31,907	25,739
<b>流動負債合計</b>	<b>95,901</b>	<b>100,007</b>
<b>固定負債</b>		
社債	10,000	10,000
長期借入金	3,711	6,516
引当金	2,315	2,399
資産除去債務	332	651
その他	12,108	12,490
<b>固定負債合計</b>	<b>28,468</b>	<b>32,057</b>
<b>負債合計</b>	<b>124,369</b>	<b>132,064</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	29,434	30,309
利益剰余金	132,491	139,827
自己株式	3,392	1,148
<b>株主資本合計</b>	<b>182,638</b>	<b>193,092</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	4,771	5,175
繰延ヘッジ損益	4	6
為替換算調整勘定	3,200	2,970
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>1,566</b>	<b>2,197</b>
少数株主持分	26,080	24,866
<b>純資産合計</b>	<b>210,285</b>	<b>220,157</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>334,655</b>	<b>352,222</b>



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
売上高	395,134	412,813
売上原価	298,416	313,061
売上総利益	96,717	99,751
販売費及び一般管理費	78,605	81,333
営業利益	18,111	18,418
営業外収益		
受取利息	115	129
受取配当金	417	339
持分法による投資利益	85	-
その他	824	877
営業外収益合計	1,442	1,346
営業外費用		
支払利息	192	219
開業費	5	127
持分法による投資損失	-	28
その他	81	157
営業外費用合計	278	532
経常利益	19,275	19,231
特別利益		
固定資産売却益	296	79
関係会社株式売却益	-	198
受取補償金	55	-
負ののれん発生益	1,200	406
その他	58	45
特別利益合計	1,611	729
特別損失		
固定資産除却損	559	562
減損損失	1,090	-
その他	438	46
特別損失合計	2,088	609
税金等調整前四半期純利益	18,798	19,351
法人税等	6,852	7,115
少数株主損益調整前四半期純利益	11,945	12,236
少数株主利益	1,669	1,531
四半期純利益	10,276	10,704

（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,945	12,236
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,437	451
繰延ヘッジ損益	15	3
為替換算調整勘定	2,305	260
持分法適用会社に対する持分相当額	4	0
その他の包括利益合計	3,731	709
四半期包括利益	15,676	12,945
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,427	11,335
少数株主に係る四半期包括利益	2,248	1,609

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	18,798	19,351
減価償却費	10,487	11,768
減損損失	1,090	-
持分法による投資損益（は益）	85	28
投資有価証券評価損益（は益）	8	4
負ののれん発生益	1,200	406
引当金の増減額（は減少）	4,803	4,960
前払年金費用の増減額（は増加）	157	353
受取利息及び受取配当金	532	469
支払利息	192	219
固定資産除売却損益（は益）	267	484
売上債権の増減額（は増加）	10,148	6,652
たな卸資産の増減額（は増加）	2,181	3,061
仕入債務の増減額（は減少）	8,419	2,180
その他	3,452	3,646
小計	26,623	24,408
利息及び配当金の受取額	582	528
利息の支払額	211	238
法人税等の支払額	11,979	5,865
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>15,015</b>	<b>18,833</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	-	10,000
有価証券の償還による収入	-	5,000
有形固定資産の取得による支出	17,875	22,699
無形固定資産の取得による支出	701	419
投資有価証券の取得による支出	669	1,032
投資有価証券の償還による収入	-	1,946
関係会社株式の取得による支出	-	2,184
子会社株式の取得による支出	620	5
子会社株式の売却による収入	9	432
貸付けによる支出	120	133
貸付金の回収による収入	270	153
定期預金の払戻による収入	3,000	-
その他	813	209
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>15,894</b>	<b>29,153</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	643	138
長期借入れによる収入	3,508	4,010
長期借入金の返済による支出	1,004	668
社債の償還による支出	500	-
配当金の支払額	3,219	3,369
少数株主への配当金の支払額	400	512
自己株式の取得による支出	2	3
その他	843	990
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,819</b>	<b>1,394</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	614	96
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	2,083	11,618
現金及び現金同等物の期首残高	40,387	43,963
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,303	32,344

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	調味料	タマゴ	サラダ・ 惣菜	加工食品	ファイン ケミカル	物流 システム	共通	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)
売上高										
外部顧客への 売上高	109,487	66,312	73,264	43,937	6,775	89,460	5,896	395,134	-	395,134
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2,658	4,395	280	1,303	247	17,829	6,868	33,584	33,584	-
計	112,146	70,707	73,545	45,241	7,023	107,289	12,764	428,718	33,584	395,134
セグメント利益 又は損失( )	9,188	2,911	2,715	517	607	2,377	823	18,106	5	18,111

(注)セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	調味料	タマゴ	サラダ・ 惣菜	加工食品	ファイン ケミカル	物流 システム	共通	合計	調整額	合計額
減損損失	-	-	120	912	-	57	-	1,090	-	1,090

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

(単位:百万円)

	調味料	タマゴ	サラダ・ 惣菜	加工食品	ファイン ケミカル	物流 システム	共通	合計	調整額	合計額
負ののれん 発生益	-	-	-	1,200	-	-	-	1,200	-	1,200

当第3四半期連結累計期間（自平成25年12月1日至平成26年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	調味料	タマゴ	サラダ・ 惣菜	加工食品	ファイン ケミカル	物流 システム	共通	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)
売上高										
外部顧客への 売上高	114,746	73,373	76,496	42,666	7,494	93,926	4,109	412,813	-	412,813
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	4,363	4,589	281	1,334	200	17,989	7,016	35,776	35,776	-
計	119,109	77,963	76,777	44,001	7,695	111,916	11,126	448,589	35,776	412,813
セグメント利益	9,141	2,481	2,597	265	632	2,496	795	18,411	6	18,418

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

（単位：百万円）

	調味料	タマゴ	サラダ・ 惣菜	加工食品	ファイン ケミカル	物流 システム	共通	合計	調整額	合計額
負ののれ ん発生益	104	301	-	-	-	-	-	406	-	406

## 4. 補足情報

- 注) 1. 表示単位未満の端数は四捨五入にて表示しており、合計が合わない場合があります。  
 2. 本資料中の計画数値は本日現在における入手可能な情報および業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際には様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。

## (1) 売上高・営業利益の状況と営業利益の増減要因

## 【売上高】

(億円)

	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
24年11月期	調味料	328	357	685	365	1,049	336	1,386
	タマゴ	211	217	428	207	635	221	856
	サラダ・惣菜	209	232	441	246	687	228	916
	加工食品	140	156	296	147	443	148	591
	ファインケミカル	17	19	36	23	58	25	83
	物流システム	281	288	569	294	863	294	1,157
	共通	14	16	30	14	44	18	62
	合計	1,199	1,285	2,484	1,295	3,779	1,271	5,050
25年11月期	調味料	331	386	717	378	1,095	359	1,454
	タマゴ	218	223	441	222	663	248	912
	サラダ・惣菜	227	244	472	261	733	247	980
	加工食品	138	154	291	148	439	145	584
	ファインケミカル	23	22	45	23	68	29	97
	物流システム	284	299	584	311	895	309	1,203
	共通	28	17	45	14	59	17	76
	合計	1,249	1,345	2,595	1,357	3,951	1,354	5,305
26年11月期	調味料	359	402	761	386	1,147		1,540
	タマゴ	241	253	494	240	734		985
	サラダ・惣菜	242	255	497	268	765		1,010
	加工食品	136	150	286	141	427		570
	ファインケミカル	23	28	51	23	75		115
	物流システム	300	312	612	327	939		1,220
	共通	13	15	28	13	41		60
	合計	1,315	1,415	2,730	1,398	4,128		5,500
前年差	調味料	28	16	44	8	53		86
	タマゴ	22	30	52	19	71		73
	サラダ・惣菜	15	11	26	7	32		30
	加工食品	2	4	5	7	13		14
	ファインケミカル	0	6	6	1	7		18
	物流システム	16	13	29	16	45		17
	共通	14	2	17	1	18		16
	合計	66	70	135	41	177		195

平成26年11月期通期は、平成26年7月1日発表の計画数値を表示しております。

第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

## 【営業利益】

(億円)

	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
24年11月期	調味料	23	31	54	38	93	22	115
	タマゴ	13	14	27	12	40	9	49
	サラダ・惣菜	5	9	15	11	25	6	31
	加工食品	3	1	4	2	6	5	10
	ファインケミカル	2	2	4	3	6	3	10
	物流システム	7	10	16	11	28	5	32
	共通	2	2	5	2	7	1	8
	合計	50	67	117	75	192	42	234
25年11月期	調味料	23	40	63	29	92	23	115
	タマゴ	6	11	18	11	29	5	34
	サラダ・惣菜	4	10	14	13	27	7	35
	加工食品	4	0	4	1	5	4	9
	ファインケミカル	3	2	5	1	6	3	9
	物流システム	3	11	13	10	24	8	32
	共通	3	3	6	2	8	0	8
	合計	39	76	115	66	181	43	224
26年11月期	調味料	23	36	59	33	91		118
	タマゴ	1	11	10	15	25		38
	サラダ・惣菜	4	11	15	11	26		37
	加工食品	1	2	2	1	3		0
	ファインケミカル	2	3	5	1	6		10
	物流システム	6	9	15	10	25		35
	共通	3	3	5	3	8		7
	合計	36	75	111	73	184		245
前年差	調味料	1	4	4	4	0		3
	タマゴ	7	0	7	3	4		4
	サラダ・惣菜	0	1	1	2	1		2
	加工食品	3	3	6	2	8		9
	ファインケミカル	1	1	0	0	0		1
	物流システム	3	1	2	1	1		3
	共通	1	0	1	1	0		1
	合計	3	1	4	7	3		21

平成26年11月期通期は、平成26年7月1日発表の計画数値を表示しております。

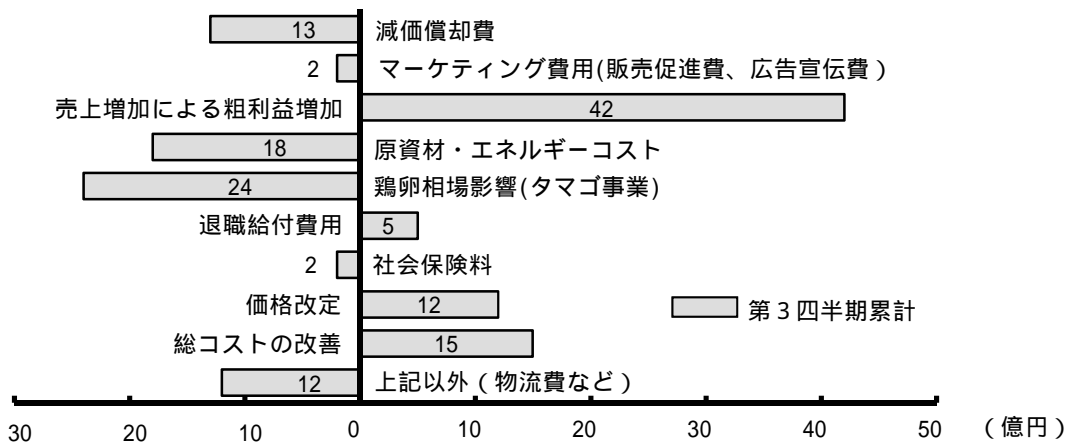
第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

## 【営業利益の増減要因(前年差)】

(億円)

	25年11月期	26年11月期	前年差
第3四半期累計	181	184	3
通期	224	245	21

平成26年11月期通期は、平成26年7月1日発表の計画数値を表示しております。



## (2) 設備投資と主要な販売費・一般管理費

(億円)

	24年11月期 第3四半期累計	25年11月期 第3四半期累計(A)	26年11月期 第3四半期累計(B)	前年差(B - A)
設備投資	167	190	236	46
減価償却費	102	105	118	13
販売促進費	143	152	155	3
広告宣伝費	61	61	60	1
物流費	217	228	239	12
労務費	183	189	198	9
研究開発費	24	24	27	3

## (3) 国内におけるサラダ調味料の業態別販売量および金額(キユーピー株式会社)

		24年11月期 第3四半期累計	25年11月期 第3四半期累計(A)	26年11月期 第3四半期累計(B)	前年差(B - A)
家庭用	販売量(千t)	98	98	96	2
	金額(億円)	565	573	585	12
業務用	販売量(千t)	80	81	80	1
	金額(億円)	307	310	314	4

平成25年11月期の商品カテゴリーの整理に伴い、平成24年11月期実績を補正しております。

## (4) 海外展開 売上高・営業利益の状況

(億円)

	24年11月期 第3四半期累計	25年11月期 第3四半期累計(A)	26年11月期 第3四半期累計(B)	前年差(B - A)
海外 売上高	139	175	230	55
中国	42	56	78	22
東南アジア	26	38	46	9
北米	57	66	89	23
日本からの輸出等	14	15	17	2
海外 営業利益	6	8	18	10

海外子会社(中国、東南アジア、北米)の第3四半期累計の数値は、10月から6月を対象としております。



（5）営業外・特別損益の状況と主な増減内容

（億円）

	25年11月期 第3四半期累計	26年11月期 第3四半期累計	増減内容 (25年11月期 第3四半期累計対比)	24年11月期	25年11月期	26年11月期 計画
営業外損益	12	8	持分法による投資利益の減少 1 開業費の増加 1 為替差益、デリバティブ評価益 の減少 2	11	13	6
特別損益	5	1	負ののれん発生益の減少 8 関係会社株式売却益の増加 +2 減損損失の減少 +11	11	13	9

平成26年11月期計画は、平成26年7月1日発表の計画数値を表示しております。

（6）貸借対照表の状況と主な増減内容

（億円）

	25年11月期	26年11月期 第3四半期	増減	増減内容(25年11月期対比)
(資産の部)				
流動資産	1,464	1,508	43	現預金の減少 66 売掛債権の増加 +68 たな卸資産の増加 +31
固定資産				
有形・無形固定資産	1,385	1,499	114	取得による増加 +223 減価償却による減少 118
投資その他の資産	497	516	19	投資有価証券の増加 +18
(負債の部)				
	1,244	1,321	77	借入金の増加 +35 賞与引当金の増加 +32
(純資産の部)				
	2,103	2,202	99	利益剰余金の増加 +73 自己株式の減少 +22 少数株主持分の減少 12

（7）キャッシュ・フローの状況と主な増減内容

（億円）

	25年11月期 第3四半期累計	26年11月期 第3四半期累計	増減内容 (25年11月期 第3四半期累計対比)	24年11月期	25年11月期
営業活動による キャッシュ・フロー	150	188	売上債権の減少 +35 仕入債務の減少 62 法人税等の支払額の減少 +61	332	274
投資活動による キャッシュ・フロー	159	292	有形固定資産の取得の増加 48 有価証券取得の支出の増加 100 有価証券償還の収入の増加 +50 定期預金払戻の収入の減少 30	244	219
財務活動による キャッシュ・フロー	18	14	社債償還の支出の減少 +5	70	23